消防だより

平成29年火災救急統計

◇火災統計

火災件数は7件で、前年より9件減少しました。
内訳は建物火災5件、林野火災1件、その他火災が1件です。
原因としては、「たき火」「コンロの消し忘れ」などとなっています。

この時期は、空気が乾燥し火災の起こりやすい気象状況が続きますので、火の取り扱いには十分注意し、火災予防にご協力ください。

◇救急統計

救急件数は、1,409件でした。
内訳は、急病が全体の約69％を占め、続いて一般負傷、交通事故となり、前年と比べ22件の増加となりました。
救急車の適正利用にご協力ください。

火災統計

区分＼年別の比較		平成29年	平成28年
火災件数	合計	7	16
	建物火災	5	10
	林野火災	1	
	車両火災		2
	その他火災	1	4
焼損軒数	全焼	4	4
	半焼		
	部分焼	3	3
	ぼや	2	6
焼損面積	建物(㎡) 床面積	563.6	573.3
	建物(㎡) 表面積	35	77.2
	林野(a)	6.9	
死傷者	死者		2
	負傷者	1	1

救急統計

事故種別＼年別	平成29年	平成28年
火災		2
自然災害		
水難	1	
交通事故	132	133
労働災害	27	17
運動競技	7	1
一般負傷	178	177
加害	1	4
自損事故	7	14
急病	974	962
その他	82	77
合計	1,409	1,387
搬送人員	1,308	1,308

3月1日～7日は全国一斉 春の火災予防運動を実施

町消防団幹部・新入団員講習会を実施

1月28日(日)、町総合体育館において、消防団幹部および新入団員の講習会を実施しました。

この講習会には、班長以上の幹部と、新入団員、あわせて約200人が参加しました。

幹部は、体育館全面を使って訓練礼式、各個訓練を行いました。
新入団員は、消防団員としての役割、また、災害現場での心得などの講習を受けるとともに、訓練礼式の基礎を学びました。

団員の皆さんは、養老町民の生命、身体、財産を守る消防団活動の期待の大きさを感じながら、真剣な表情で受講していました。

特別点検の様子

町民文芸

（敬称略）

◆まほろば短歌会

十五夜にうかぶもうれし影の城瞬くうちに白は消えざり　村上やす子
逝きし母そこから降ってくるような初雪淋し誕生日の朝　竹田義秋
頂上は雲に包まれ尾根は雪養老の山かすかに見ゆる　大橋奈美子
近隣に若き一家の家が建つ工法新たに槌音高し　古川奈津
しっかりと数歩歩めりケータイの画面に曾孫は此方を向きて　村上潔子
蠟梅は寒さの中こそ清しけれ手折りて挿せばホロホロこぼる　早川弘美
七五三曾孫の晴れ着丈直し嫁に頼まれうれしき返事す　後藤久子
淡雪の下よりのぞく紅梅の色あざやかに春の息吹きす　高木美代子
珍しく郷土紹介のテレビあり最後まで養老の滝映らず　重金英男

◆小畑蛍川句会

埋句

雪〇〇〇月〇〇〇〇〇〇〇〇〇　恵美子
雪しまき月かげはしる風のみち　奈美子
雪やみて月まんまるの夕べかな　まさ子
雪のみち月のあかりにほろ酔ひて　紀年
雪のみち月の世界へつづくかな　好
雪ごろも月こうこうの里眠る　恭一
雪や人で月は雲間にほほゑめり　千代子
雪もよひ月を細めて暮はやし　吉一
雪吊の月のあかりに琴の糸　誠
雪だるま月夜に映ゆる艶姿　美恵子
雪山に月光さしてさむざむと　隆司
雪止みて月うすうすと大伽藍　恵美子

雑詠

高麗鼠の如に松の明けにけり　奈美子
頭を下げて犬の歩むや雪のみち　まさ子
ブロックの狭間の土筆荒し園　紀年
梅咲いて仕事に励み句に励み　好
春近し気配の土の動きけり　恭一
朝もやに拍手ひびく神の庭　千代子
歌留多会孫は手早く声上ぐる　吉一
シベリアの白鳥漂と美濃の里　誠
雪月酒ほどよきほどの酔いごこち　美恵子
一品の足りぬ七草粥を煮る　隆司
恙なく八十路に入りし柚子湯かな

大会結果

第133回囲碁大会

（町囲碁連盟）

A組
優勝　高木　守(六段)
準優勝　田中豊太郎(六段)
三位　西脇正博(八段)

B組
優勝　所　基(四段)
準優勝　林　政市(五段)
三位　藤井嘉市(五段)

C組
優勝　近藤康夫(二段)
優勝　藤田孝義(初段)
三位　関　隆夫(二段)